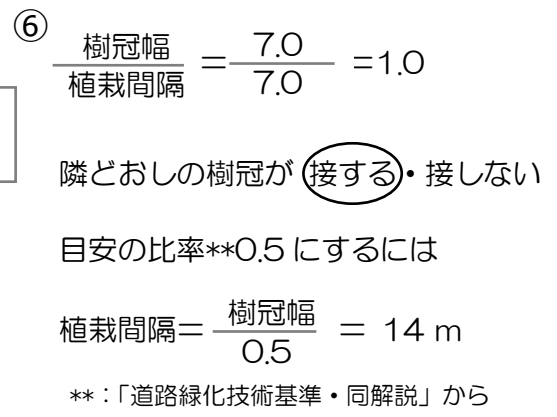
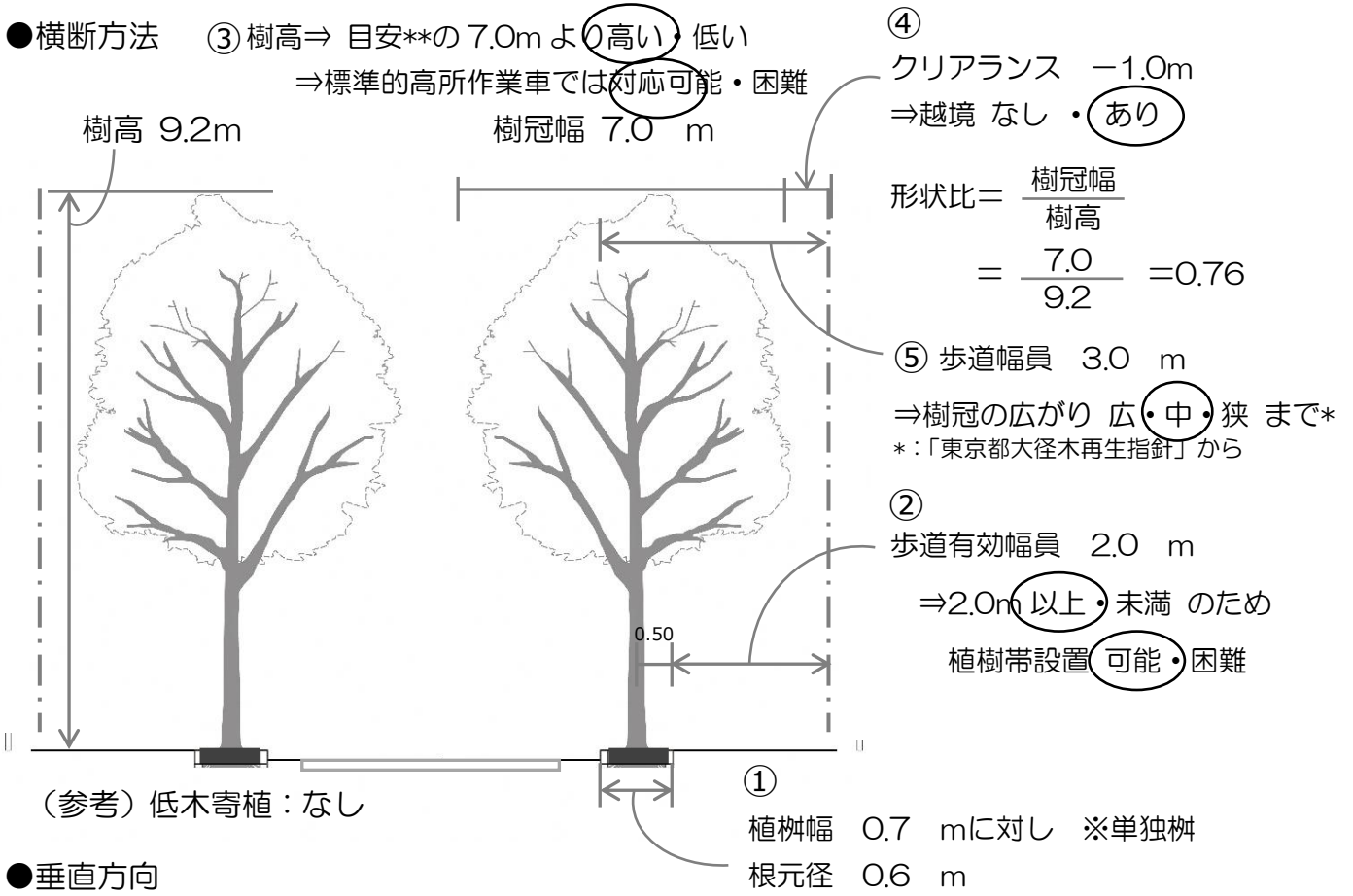


現地視察地点情報① (4-49 号線/ケヤキ) 【お名前】

樹高	9.2 m	樹冠幅	7.0 m
植栽間隔	7.0 m	根元径	0.6 m

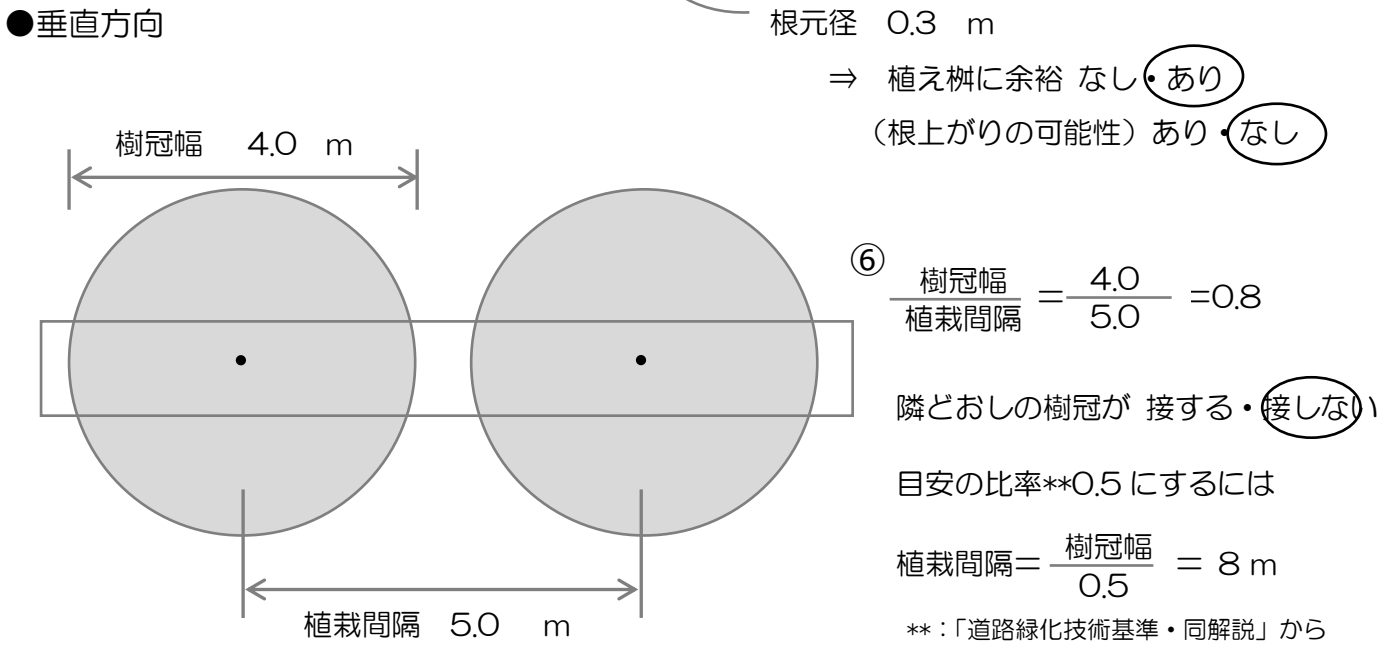
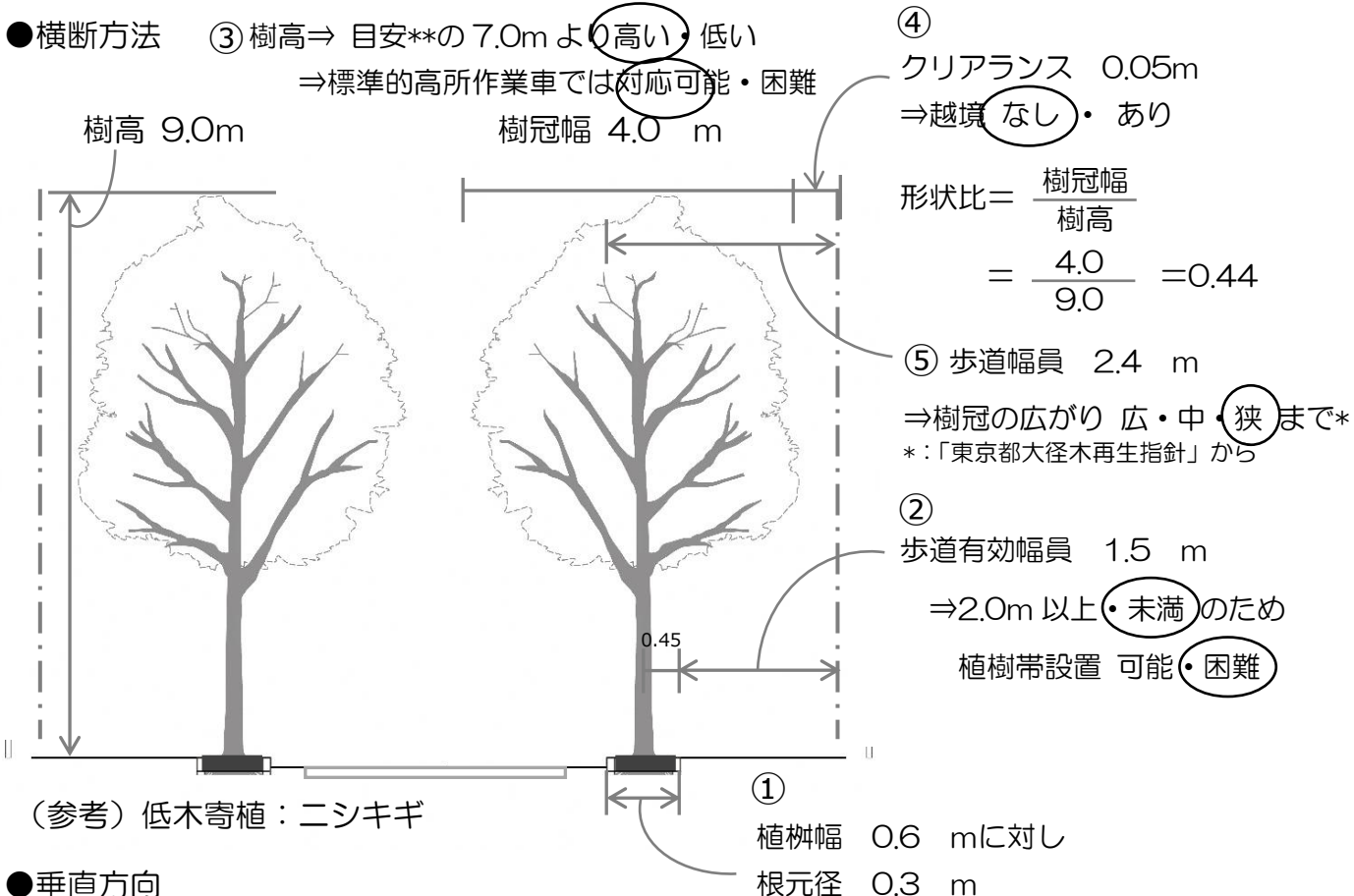


まとめ ① から、更新するか、根系の伸長空間確保を図る時期に来ている
④、⑤、⑥から、樹形の小型化か、小型の樹種を導入する歩道空間構成である
⇒現在の樹種をコンパクトな状態で維持するか、樹形がコンパクトな樹種での更新が考えられる

ご意見等

現地視察地点情報② (5-1号幹線：貝取大通り/ハクウンボク)

樹高	9.0 m	樹冠幅	4.0 m
植栽間隔	5.0 m	根元径	0.3 m

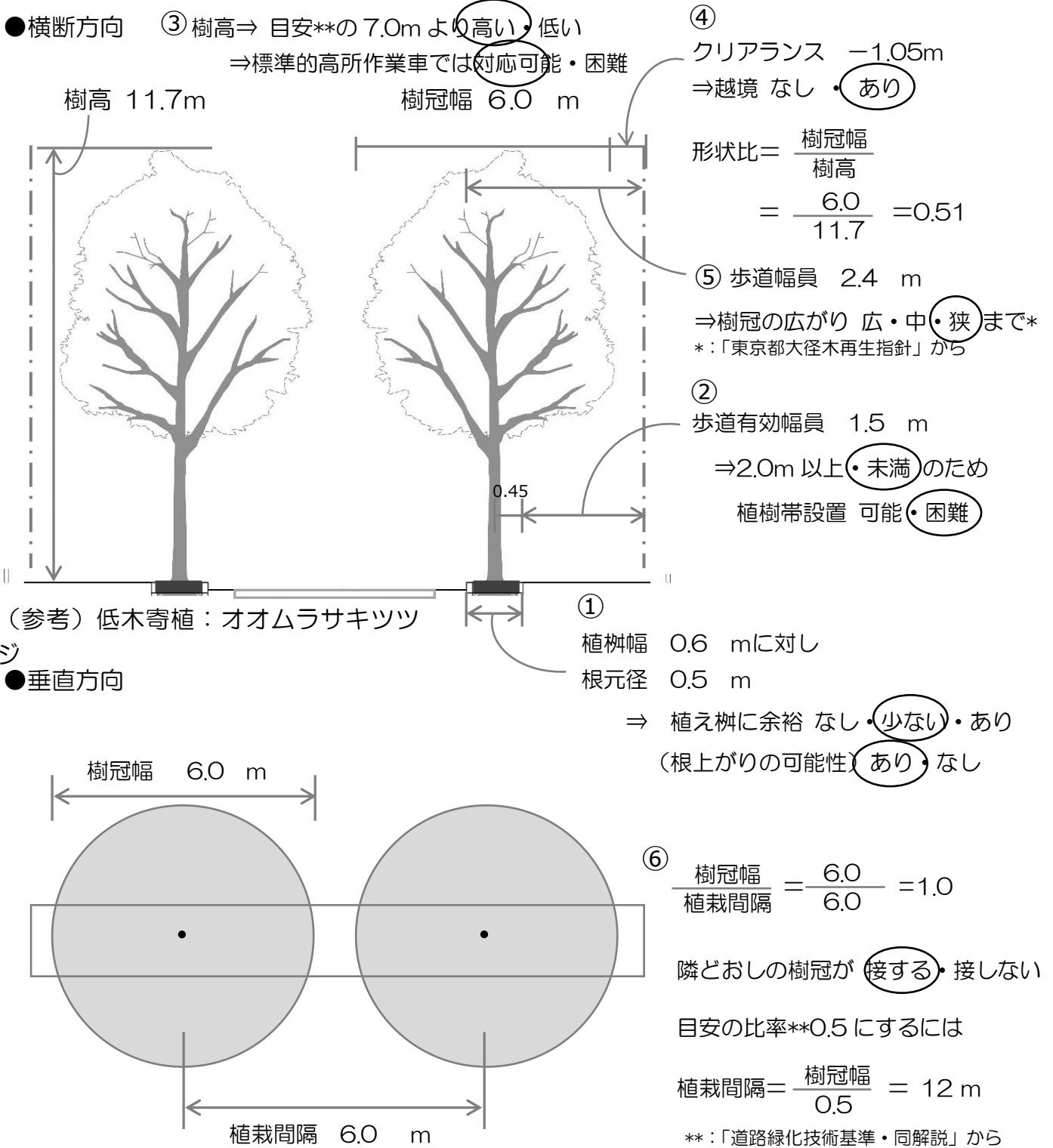


まとめ 現状で伐採が進み、並木景観の維持が困難な状態にある。
②から、歩道の有効幅員を確保した規模での植栽とする必要がある。
④、⑤、⑥から、中高木の導入は植栽間隔の再検討を前提に、小型の樹種からの選出が必要
⇒植栽を導入するかも含めた見直し

ご意見等

現地視察地点情報③ (5-2号幹線：上之根大通り/モミジバフウ)

樹高	11.7 m	樹冠幅	6.0 m
植栽間隔	6.0 m	根元径	0.5 m

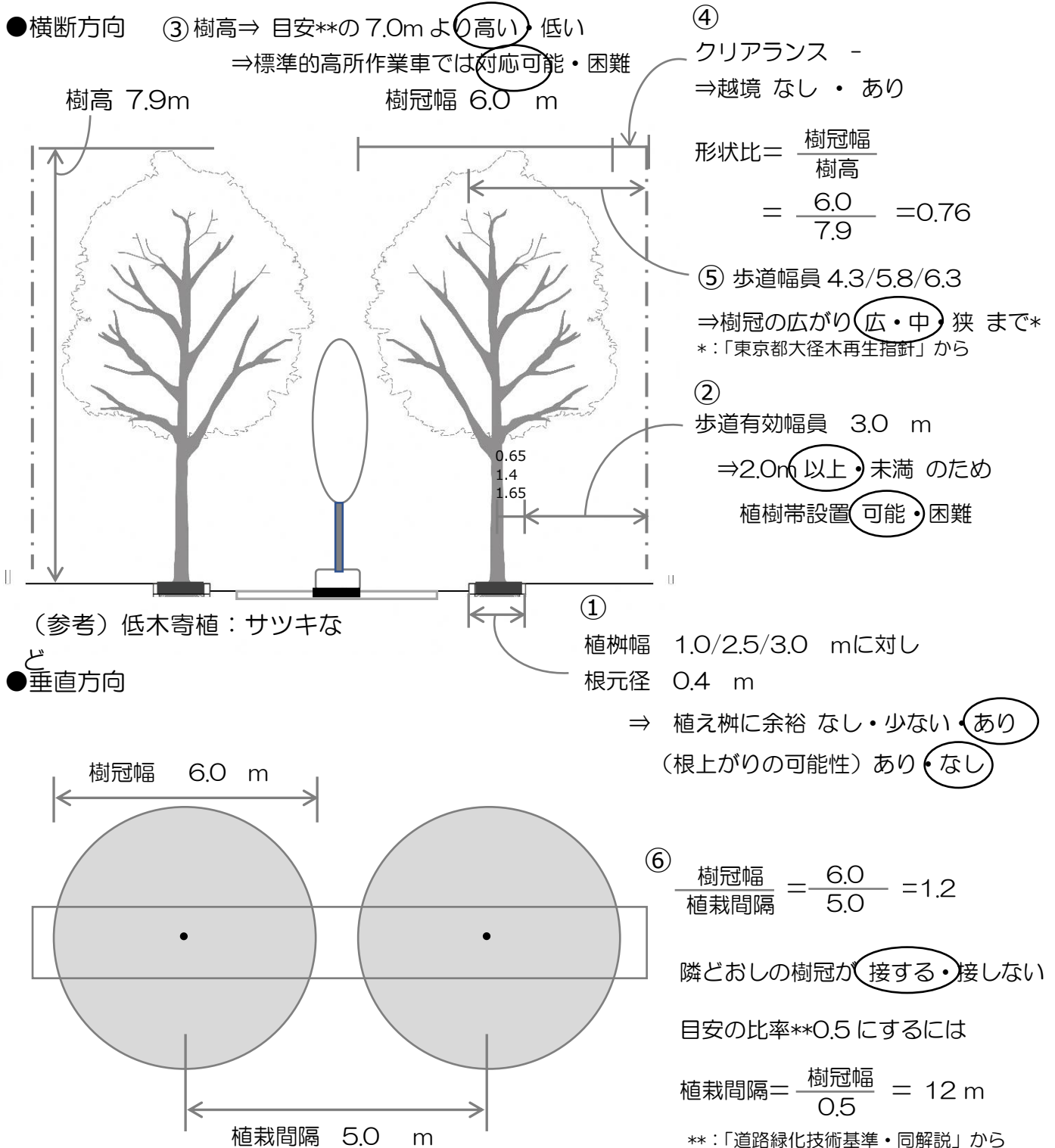


まとめ ③から、標準的な車両（12m級高所作業車）が限界となる樹高に到達している。
④、⑤、⑥から、樹形の小型化か、小型の樹種を導入する歩道空間構成である。
⇒更新の目安や管理目標を設定し、計画的な管理を実施する必要がある。(間引き、サイズダウン)

ご意見等

第7回 多摩市街路樹よくなるプラン改定委員会 現地視察会
 現地視察地点情報④ (5-39号歩線/シラカシ)

樹高	7.9 m	樹冠幅	6.0 m
植栽間隔	5.0 m	根元径	0.4 m

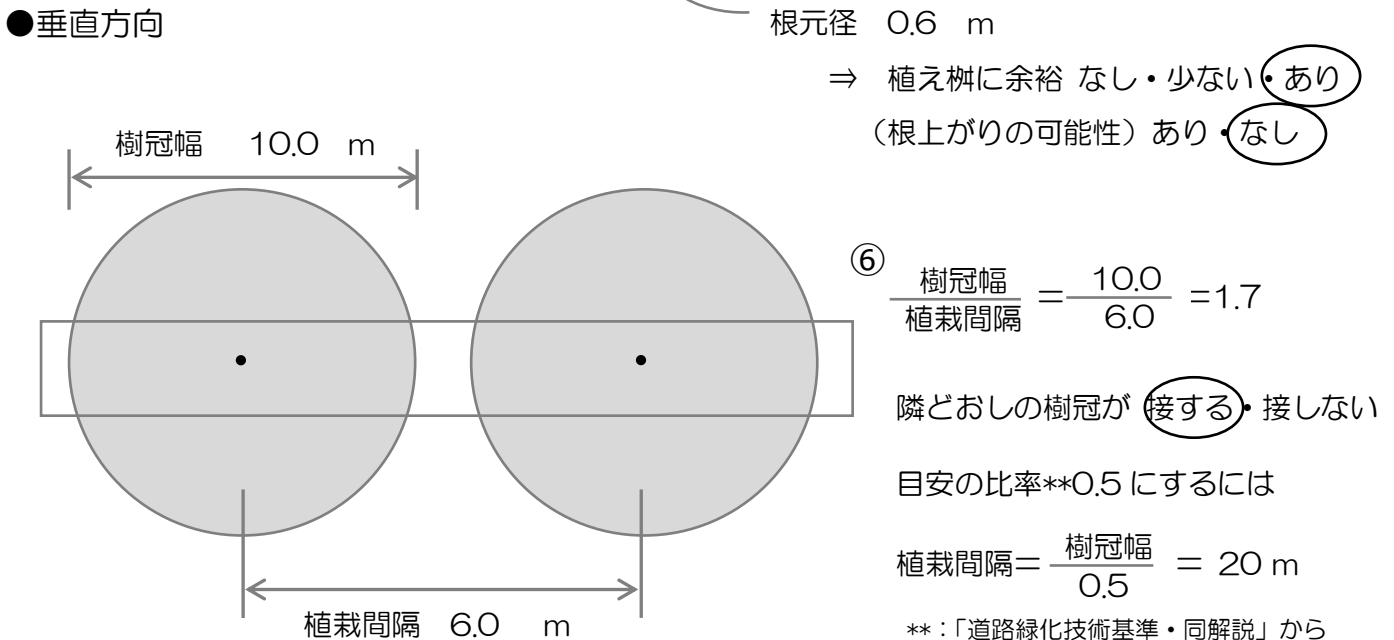
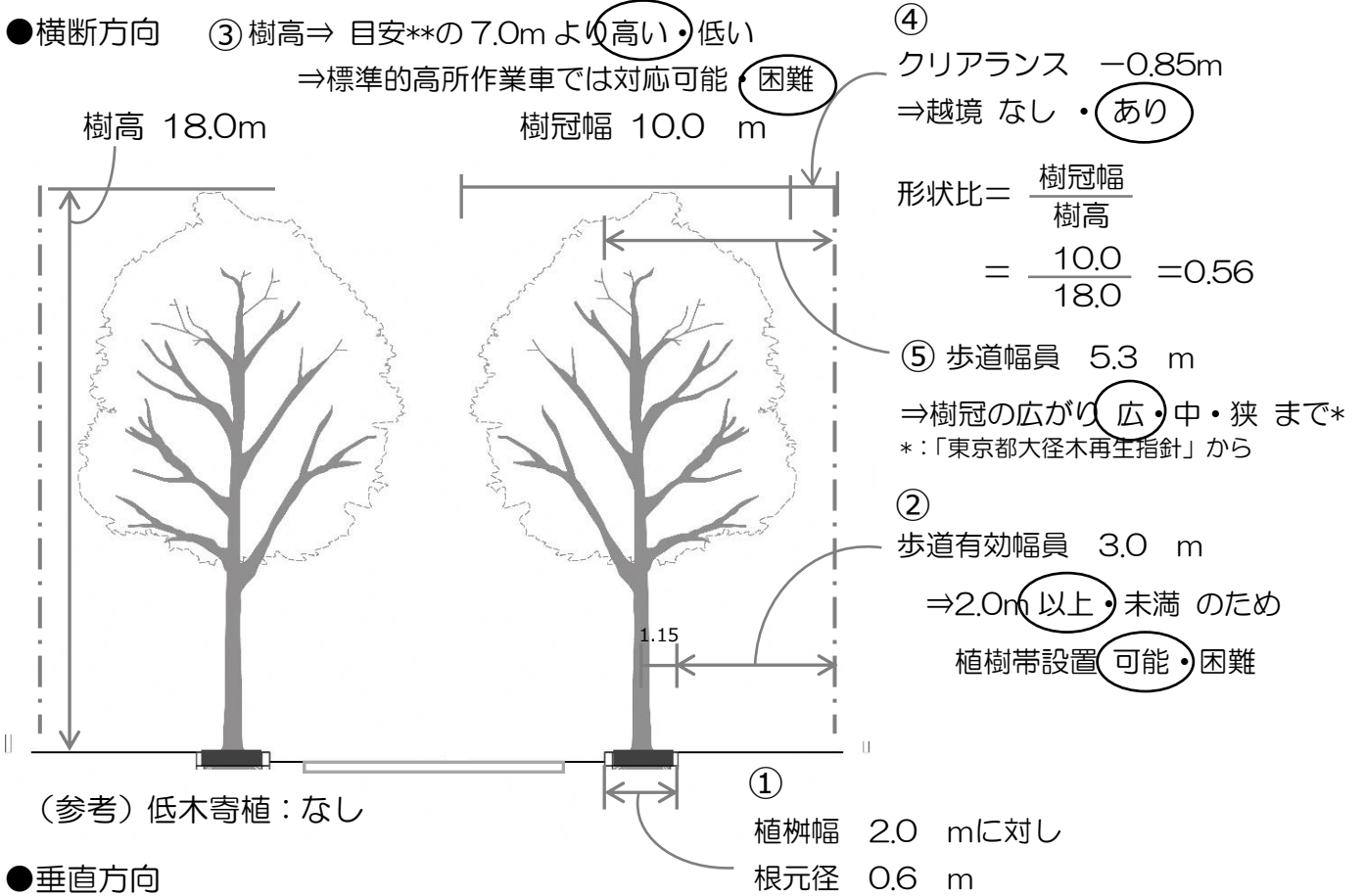


まとめ ⑥から樹冠どおしが接し、常緑広葉樹のため、うっそうとした空間となっている。
 ⇒遊歩道内を明るくするため、間引きをするか、すべて撤去する。低木寄植を含めた植栽構成の見直し。

ご意見等

現地視察地点情報⑤ (6-1号幹線：メタセコイア通り/メタセコイア)

樹高	18.0 m	樹冠幅	10.0 m
植栽間隔	6.0 m	根元径	0.6 m

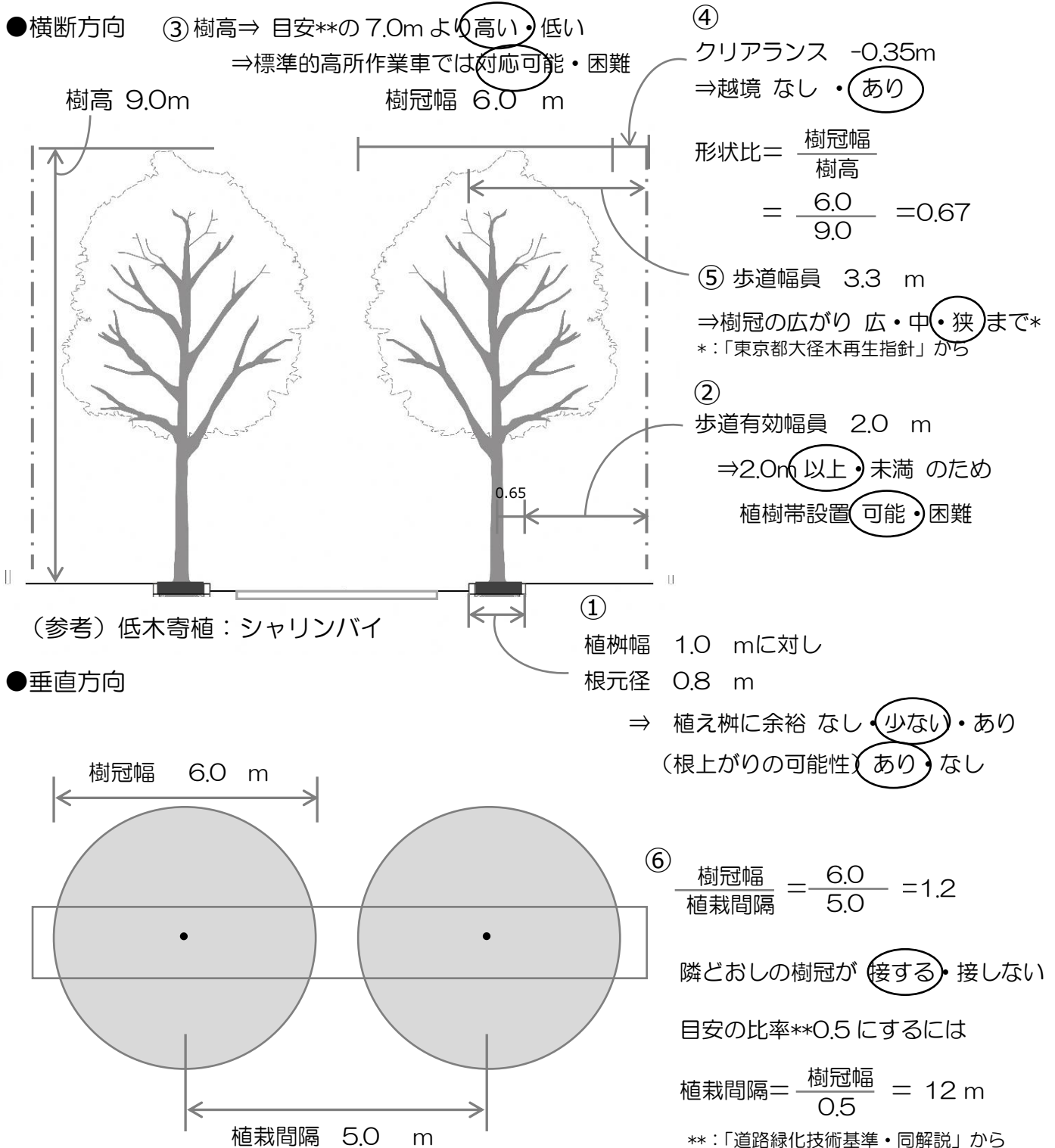


まとめ ③から、標準的な車両より大きな、22m級高所作業車での対応が必要な樹高になっている。
④、⑤、⑥から、樹形の小型化か、小型の樹種を導入する歩道空間構成である。
⇒更新の目安や管理目標を設定し、計画的な管理を実施する必要がある。(間引き、サイズダウン)

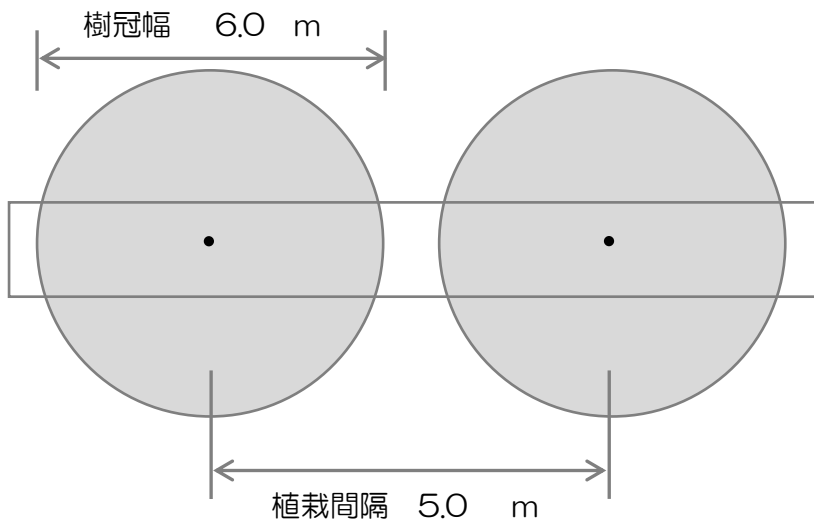
ご意見等

現地視察地点情報⑥ (5-74号線/クスノキ)

樹高	9.0 m	樹冠幅	6.0 m
植栽間隔	5.0 m	根元径	0.8 m



●垂直方向

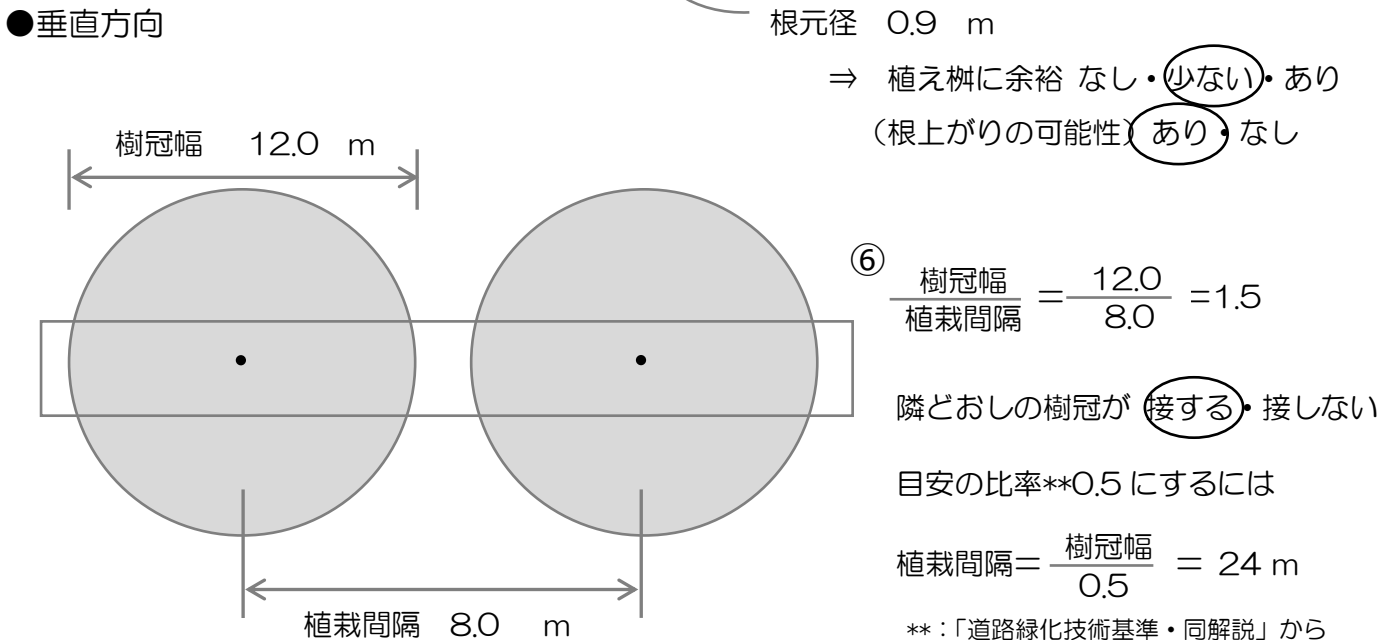
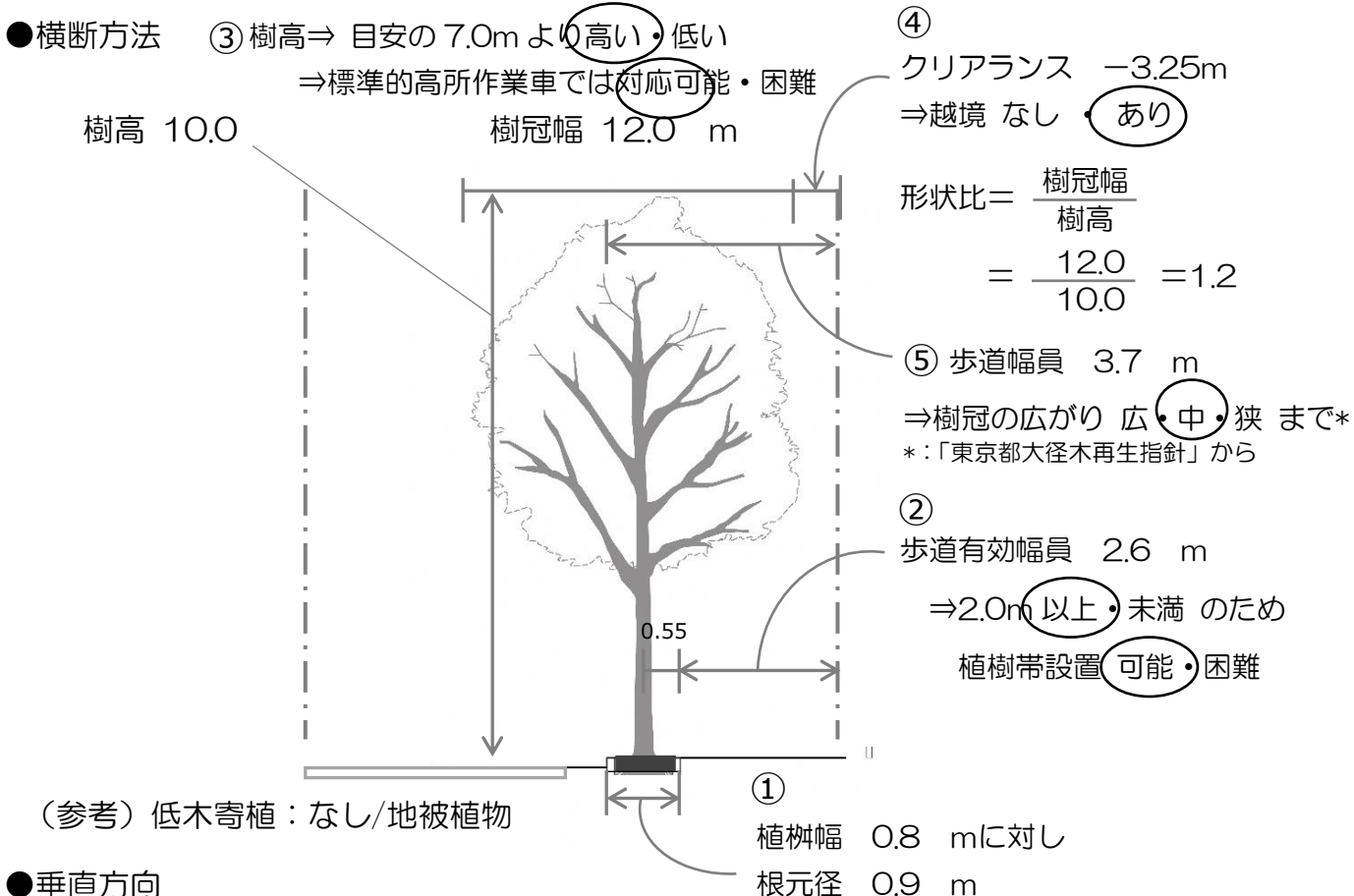


まとめ	① から更新するか、根系の伸長拡大を図る時期に来ている ④、⑤から、樹形の小型化か、小型の樹種を導入する歩道空間構成である ⇒現在の樹種をコンパクトな状態で維持するか、樹形がコンパクトな樹種での更新
-----	---

ご意見等	
------	--

第7回 多摩市街路樹よくなるプラン改定委員会 現地視察会
 現地視察地点情報⑦ (乞田川沿いB / ソメイヨシノ)

樹高	10.0 m	樹冠幅	12.0 m
植栽間隔	8.0 m	根元径	0.9 m



まとめ 大径木が進んでいるため、樹木診断を実施し、危険性の高い木は伐採している。根上りが顕著
 ④、⑥から、樹形の小型化か、小型の樹種を導入する歩道空間構成である
 ⇒樹木診断を定期的実施し、順次更新を行っていく。更新の際、ソメイヨシノに替わる小型の樹種の導入検討もする

ご意見等